

令和3年度 東京港ICT活用促進事業の概要について

事業名 : 東京港の水域利用調整業務における船舶動静情報共有のプラットフォーム化
応募事業者 : 【代表】(株)東洋信号通信社(船舶情報サービス) 【連携】東海運(株)(船舶代理店)
目的とする効果 : 東京港のふ頭施設等の効率的な運営、港内やふ頭施設での安全な運営の確保

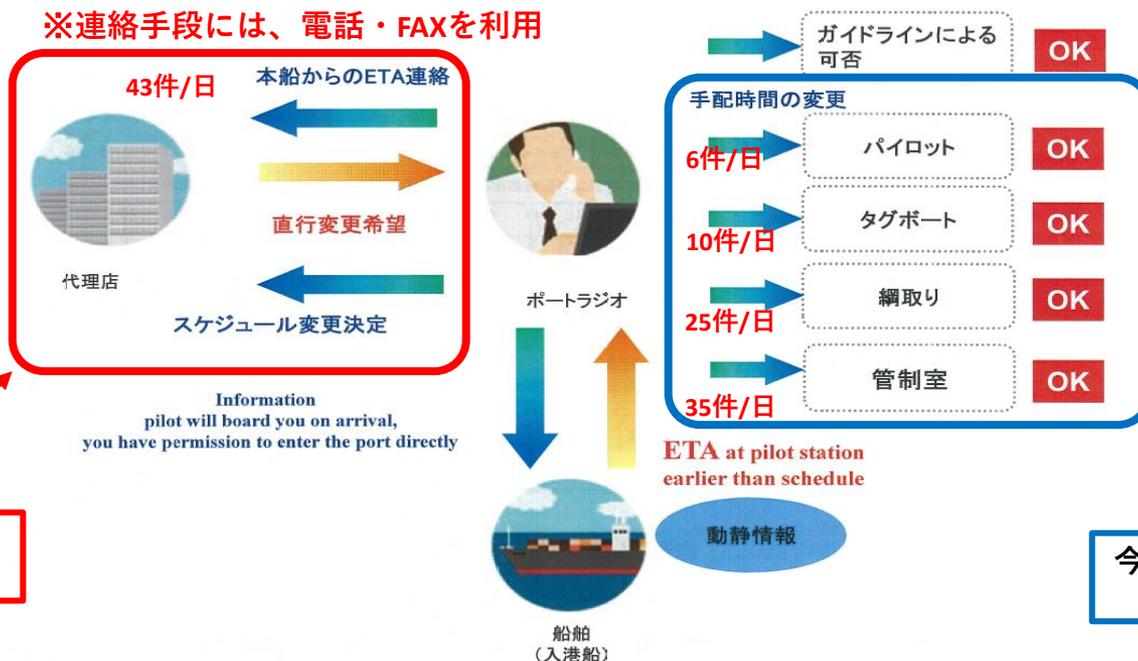
取組内容

- 東洋信号通信社と船舶代理店が情報を確認・共有できる同一プラットフォーム(Webアプリケーション)を作成
- リアルタイムな情報共有と情報の受渡しの効率化を図ることで、東京港の利便性向上と安全な運営確保を目指す

メニュー1 全ての船舶入出港情報の共有(船舶代理店から東洋信号通信社へ管制船の最新情報の確認: 電話10件/日)
メニュー2 船舶入出港の時間変更手続き・手配情報の共有(船舶代理店との変更連絡 電話・FAX 43件/日)

【水域利用調整の手配変更の流れ】

※連絡手段には、電話・FAXを利用



今回の補助事業
(メニュー2)

今後の追加を想定し、
拡張性を持たせる

令和3年度 東京港ICT活用促進事業の概要について

実施内容

- 東洋信号通信社と船舶代理店が情報を確認・共有できる同一プラットフォーム(Webアプリケーション)を作成(パソコン、スマートフォンにより確認可能)

メニュー1 全ての船舶入出港情報の共有

スケジュールをクリックすると西航路or東航路の入出港情報が閲覧できます。

3日先迄の管制船情報です。

当日の運航予定表です。JUMPをクリックするとAIS搭載船は現在位置情報が分かります。

出港	船名	トン数	LOA	船種	船種	コース	入港時間	出港時間	航路	船名	船種
出港	SEITOHAKUSA	17232.00	178.09	管制船	7000t	12070000	10:30				
出港	東海	1430.00	61.11	非管制船	7000t	西航路		11:00	東航路	東海	7000t
出港	STRAITS CITY	9587.00	145.93	管制船	7000t	A1(A001)		11:00	山丸	東海	7000t
入港	神威丸	400.00	74.28	非管制船	管制船	S(03000)	11:00				
入港	東海	1430.00	61.11	非管制船	管制船	西航路	11:30				
入港	ヒコシアマツト	279.56	30.78	非管制船	管制船	O(03000)	11:30				
入港	とまの丸	8090.00	118.00	管制船	管制船	O(03000)	12:20				
船名	ヒコシアマツト	279.56	30.78	非管制船	管制船	O(03000)					

- 翌日以降 3日先までの管制船運航予定情報を確認する事ができる
- 17時以降、翌日分の船舶(500トン以上)の予定、手配状況、管制船の有無等を確認する事が出来るとともに、本船位置の確認が可能(ShipFinderサイトに移動)

メニュー2 船舶入出港の時間変更手続き・手配情報の共有

変更申請をクリックすると御社取り扱い船舶が表示されます。

翌日までの予定が表示されます。

Editをクリックすると手配変更入力画面に移ります。

船名	出港	船名	トン数	LOA	船種	船種	コース	入港時間	出港時間	航路	P	T	L
出港	WAN-HAI 175	16472.00	172.10 m	管制船	7000t	O S(0500)		09:00		東航	有	1	有
入港	WAN-HAI 307	25836.00	196.72 m	管制船	7000t	O S(0500)		09:00		東航	有	1	有
入港	SINOTRANS MANILA	19070.00	174.99 m	管制船	7000t	S E(0500)		07:00		東航	有	1	有
出港	WAN-HAI 307	25836.00	196.72 m	管制船	7000t	O S(0500)		17:00		東航	有	1	有
入港	YI SHENG	4822.00	113.00 m	7000t	7000t	-()	PH			NANTONG	無	0	無

- 代理店は I D・P A S S のログインにより自社扱いの船舶予定一覧を確認し、変更申請画面により手配変更を申請
- 変更申請は東洋信号通信社に通知され、各手配先との調整を実施
- 東洋信号通信社において調整後、システムにより代理店あてに手配変更情報を通知

令和3年度 東京港ICT活用促進事業の概要について

実証実験の概要

● 概要

東洋信号通信社(水域利用調整実務者)と東海運(船舶代理店)において、Webアプリを用いて手配変更の手續や情報共有を行う実証実験を実施

- 1) 日程 令和4年1月24日(月)～2月28日(月) (36日間)
- 2) 役割分担 東洋信号通信社 : 手配変更受付の実務
東海運(代理店) : 手配変更を申請。東海運の荷役請負者もシステムにより船舶入出港情報を確認



● 実施結果

アクセス数 合計170件(代理店139件、フォアマン31件) システムによる手配変更 48件

< 利用者の意見 (代理店・フォアマン) >

- ・ 管制船情報の活用により、直前の変更や代理店から船社への連絡が削減された
- ・ リモートワークや出先など、場所を選ばずシステムを閲覧でき利便性が高い
- ・ 変更申請の操作性に優れ、変更履歴の確認により手配漏れの防止につながった
- ・ タイムリーな管制船情報や長期スケジュールの把握は、フォアマンの荷役業務手配や動静決定に役立った
- ・ フォアマン自身がシステムにより確認することで、代理店とフォアマン間も連絡削減等の負担軽減につながった

事業の効果と今後の取組

● 全ての船舶入出港情報の共有(メニュー1)

⇒ 電話確認の削減による事務負担の軽減、代理店等における情報活用による効率的な埠頭運営の実現

● 船舶入出港の時間変更手続き・手配情報の共有(メニュー2)

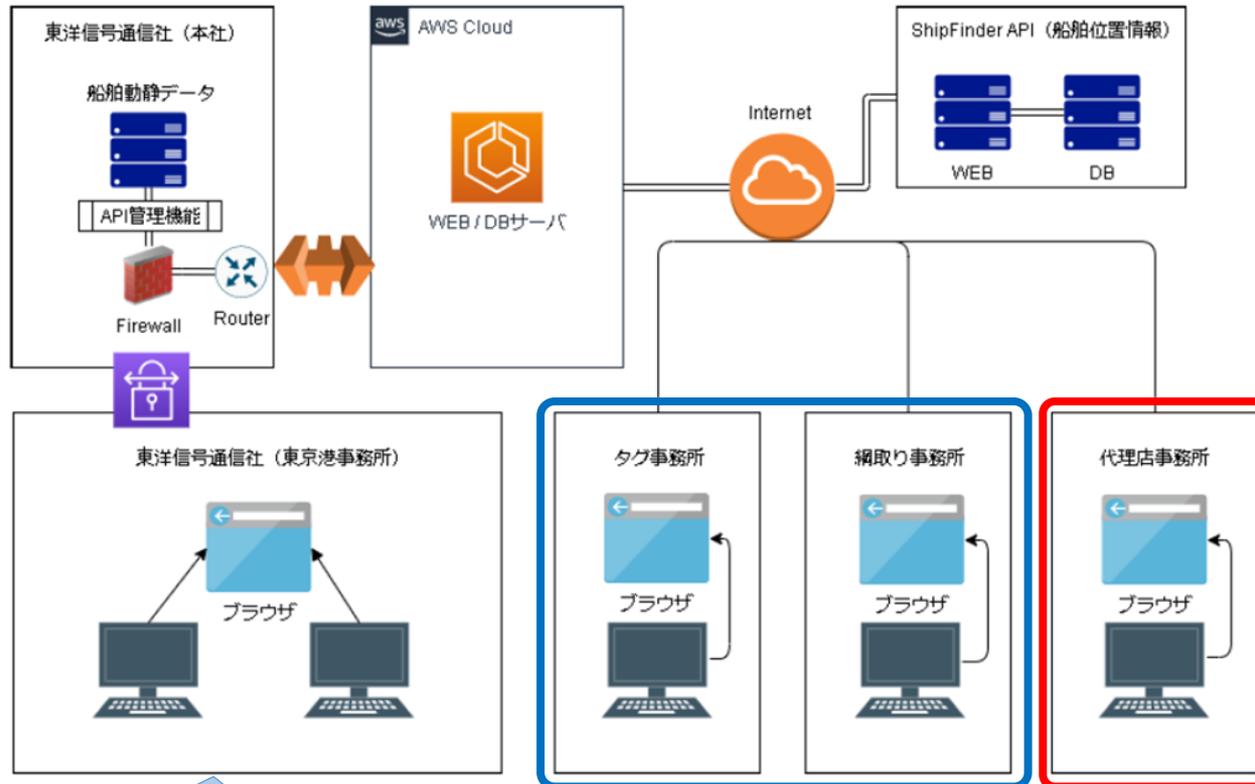
⇒ 電話やFAXの削減による人為的な事故の防止、リモートワーク等における利便性の向上

● 今後、他代理店に利用拡大予定。将来的には水域利用調整に関わる多くの事業者への利用拡大を目指す

令和3年度 東京港ICT活用促進事業の概要について

システムの概要

- 東洋信号（本社）の既存の基幹システム船舶動静と連携するため、基幹システム上にAPI管理機能とAPI機能を実装
- Cloud上にWEB/DBサーバを構築し、東洋信号通信社（本社）とCloud環境を専用ネットワークで接続
- 東洋信号通信社の既存サービスであるShipfinder API から船舶位置情報を取得



東洋信号通信社（東京港事務所）が手配変更の実務を実施
本システム専用のPC及び大型モニター設置

タグポート、網取りの他、パイロット、東京マース等、水域利用の調整先にシステムの拡張性を持たせた

東海運が実証実験に参加
インターネットブラウザでシステムを利用